

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	腹腔鏡下胆嚢摘出術困難症例における fundus-first technique と胆嚢管開口部閉鎖法
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	消化器外科
研究責任者	教授（特任） 小松俊一郎
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	腹腔鏡下胆嚢摘出術に対する当院での手術成績を検討し、術式の有効性を示します。
対象となる患者さん	2015年1月から2022年12月に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した患者さん。
研究の方法	腹腔鏡下胆嚢摘出術において、fundus-first technique（胆嚢底部を先に剥離する手法）を選択した件数、胆嚢管開口部閉鎖を行った件数、周術期合併症について検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2023年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：カルテの記録（診療記事、熱型表、血液検査結果、画像検査結果、手術映像など）を用います。
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部外科学講座(消化器外科) 担当者：助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）